

今回の基本指針の変更（案）のポイント

前回（9月19日）

I 令和7/8年の主食用米等の需給見通し		(万玄米ト)	(万精米ト)
令和7年6月末民間在庫量	A	157	140
令和7年産主食用米等生産量	B	728～745	645～668
令和7/8年政府備蓄米供給量	C	24	21
令和7/8年主食用米等供給量計	D=A+B+C	908～926	807～829
令和7/8年主食用米等需要量	E	697～711	624～631
令和8年6月末民間在庫量	F=D-E	198～229	176～205

在庫量の確定

①

②

令和7年9月25日現在の
予想収穫量に更新

申込確定に伴い更新

③

①に伴う6/7年需要実績の
変更、最新のとう精数量
や人口の値を踏まえ更新

④

⑤

今回

I 令和7/8年の主食用米等の需給見通し		(万玄米ト)	(万精米ト)
令和7年6月末民間在庫量	A	155	138
令和7年産主食用米等生産量	B=C+D	748	662～670
うち生産者ふりい目幅以上	C	715	
うち生産者ふりい目幅未満のうち、 主食用への供給見込量	D	32	
令和7/8年政府備蓄米供給量	E	23	21
令和7/8年主食用米等供給量計	F=A+B+E	926	822～829
令和7/8年主食用米等需要量	G	697～711	624～631
令和8年6月末民間在庫量	H=F-G	215～229	191～205

II 令和8/9年の主食用米等の需給見通し		(万玄米ト)	(万精米ト)
令和8年6月末民間在庫量	H	215～229	191～205
令和8年産主食用米等生産量	I	711	630～637
令和8/9年主食用米等供給量計	J=H+I	926～939	821～841
令和8/9年主食用米等需要量	K	694～711	622～630
令和9年6月末民間在庫量	L=J-K	215～245	191～220

⑧

・需要に応じた生産量として、令和8/9年需要量の上位値
(711万玄米ト)に設定

⑥

・直近5年(令和2/3年～6/7年)の需要実績(精米ベース)を
基に算出した1人当たり精米消費量(平均値～最大値)
:50.2Kg/人～50.8Kg/人
・令和8年の人口(推計値):122,569千人
・令和7/8年のインバウンド需要(推計値):6.6万精米ト

⑦

- ※1 事前契約による令和8年産備蓄米の政府買入は21万玄米トを予定。
これは上記「令和8年産主食用米等生産量」には含まれていない。
- ※2 政府備蓄米の放出(全体で約59万玄米ト)に係る買戻し及び買入は、
今後の需給状況等を見定めた上で行う。

注1:ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。
注2:上記の見通しは、国内で生産された主食用米等の需給見通しであり、SBS方式や枠外の民間
輸入(令和6/7年:約4万実トン、令和7/8年(7～8月):約4万実トン)による輸入米は含まれ
ない(財務省「貿易統計」より)。
注3:需給の見通しについては、今後の生産量や需要量の把握に努め、必要に応じて柔軟に対応。

R7/8年の需給見通しに関する基本的な考え方

これまで

- 需要見通しは、1人当たりの消費量の減、人口減少等による需要のマイナス・トレンドの継続を前提として算定。
- 生産見通しは、次年度の期末在庫量の水準を踏まえて設定。
- いずれも、玄米ベースのみで算定。

R7/8年の需給見通し

- 需給を把握するためには、玄米ベースのみでなく、精米ベースでの把握が必要。
- 需要見通しは、人口減少や直近の1人当たり精米ベースの消費量の実績、インバウンド需要の動向、精米歩留りを考慮して幅で設定。

これを検証するものとして、とう精数量・精米歩留りの実績を踏まえた需要量の推計を行う。
- 生産見通しは、6月末時点の水田における作付意向面積や直近の単収、8月15日現在の10a当たり収量の見込みを考慮して幅で設定。（9月25日現在の予想収穫量を踏まえて変更）

今回の基本指針の変更（案）　〔令和7/8年の需給見通しの変更〕

変更のポイント

- 令和7年6月末民間在庫量　＜157万玄米ト→ 155万玄米ト＞　……①
 - ・ 出荷・販売段階　速報値(138万玄米ト) → 確定値(136万玄米ト)に更新
 - ・ 生産段階　速報値(20万玄米ト) → 確定値(20万玄米ト)に更新

※10月22日公表の「生産者の米穀在庫等調査結果」の「6月30日現在における在庫量(確定値)」により推計
- 令和7年産主食用米等生産量　＜728～745万玄米ト→ 748万玄米ト＞　……②
 - ・ 従来の1.70mmふるい目幅以上から、主食用米として供給が見込まれる米の生産量(予想収穫量(生産者ふるい目幅ベース)+それ以外に主食用として流通する米)に改める。
 - ・ 令和7年産については、令和7年9月25日現在の予想収穫量 [715万玄米ト]+主食用米価格の状況等を考慮し、生産者ふるい目幅未満のうち、主食用への供給見込み量[32万玄米ト]とする。
- 令和7/8年政府備蓄米供給量　＜24万玄米ト→ 23万玄米ト＞　……③
 - ・ 随意契約による政府備蓄米の売渡しの申込確定に伴い更新
- 令和7/8年主食用米等需要量　＜697～711万玄米ト→ 697～711万玄米ト＞　……④
 - ・ ①に伴う令和6/7年主食用米等需要量の確定値により、1人当たり消費量(精米ベース)を更新(前回：50.1～50.7Kg/人 → 今回：50.2～50.8Kg/人)
 - ・ 上記で算出した1人当たり消費量の最大値について、直近のとう精数量の実績に基づき補正(50.8kg/人→50.7kg/人)
 - ・ 令和7年人口(推計値)を令和7年人口(9月概算値)に更新(前回:123,220千人 → 今回:123,170千人)
- 令和8年6月末民間在庫量　＜198～229万玄米ト→ 215～229万玄米ト＞　……⑤
 - ・ 上記①～④に伴い、令和8年6月末民間在庫量を更新

今回の基本指針の変更（案） 〔令和7/8年の需給見通しの変更〕

○ 令和7/8年の主食用米等の需給見通し

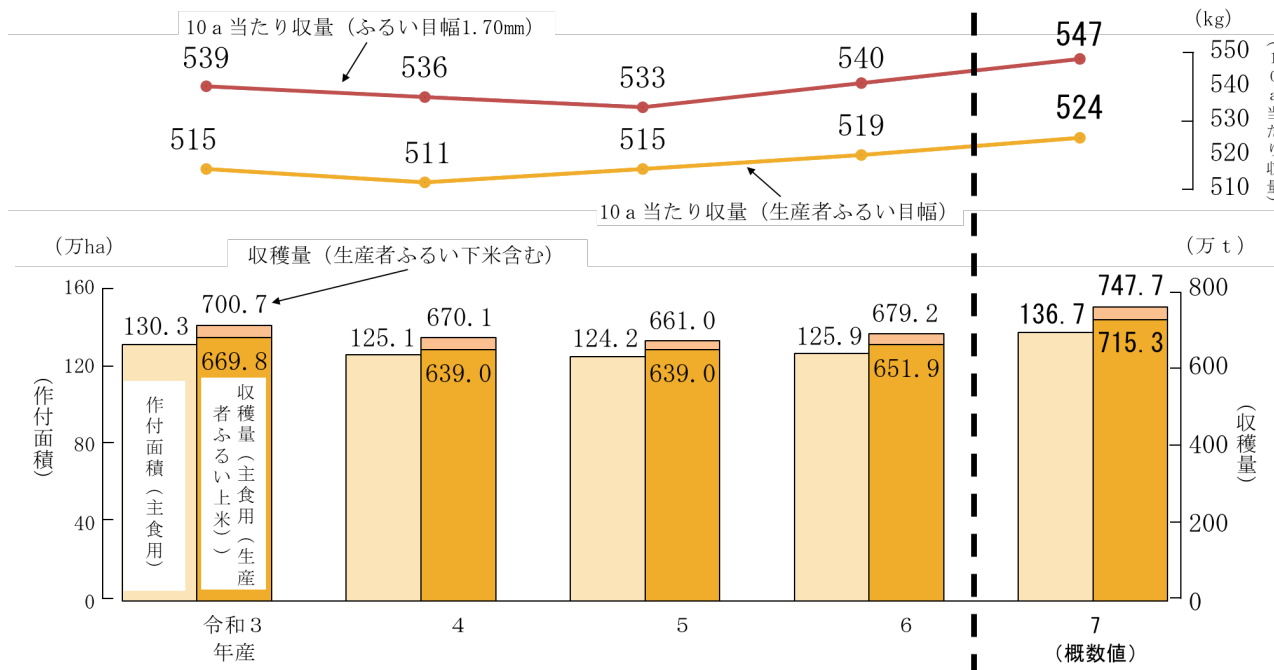
		前回(9月19日)		今 回		
		(万玄米ト)	(万精米ト)	(万玄米ト)	(万精米ト)	
令和7年6月末民間在庫量	A	157	140	155	138	① 速報値から確定値に更新
令和7年産主食用米等生産量	B=C+D	728~745	645~668	748	662~670	
うち生産者ふりい目幅以上	C	—	—	715		② 令和7年9月25日現在の 予想収穫量に更新
うち生産者ふりい目幅未満 のうち、主食用への供給見込量	D	—	—	32		
令和7/8年政府備蓄米供給量	E	24	21	23	21	③ 申込確定に伴い更新
令和7/8年主食用米等 供給量計	F=A+B+E	908~926	807~829	926	822~829	
令和7/8年主食用米等需要量	G	697~711	624~631	697~711	624~631	④ ①に伴う6/7年需要実績の 変更、最新のとう精数量や 人口の値を踏まえ更新
令和8年6月末民間在庫量	H=F-G	198~229	176~205	215~229	191~205	⑤ 上記①~④に伴い更新

※ 政府備蓄米の放出(全体で約59万玄米ト)に係る買戻し及び買入れは、今後の需給状況等を見定めた上で行う。

令和7年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量

- 令和7年産の水稻の9月25日現在の生産者が使用しているふるい目幅1.85mm、1.90mm等ベースの予想収穫量(主食用)は715.3万トで、前年産に比べ63.4万玄米トン増加と見込まれる。これは、
 - ① 作付面積(主食用)が、新規需要米や備蓄米等からの転換等があったため、136.7万haで、前年産に比べ10.8万ha増加と見込まれることに加え、
 - ② 全国の10a当たり予想収量(生産者が使用しているふるい目幅ベース)は、一部地域で5月上旬から6月中旬にかけての気温や日照時間が前年を下回る地域があったものの、多くの地域で総じて天候に恵まれたため、524kgで、前年産に比べ5kg増加と見込まれるためである。
- 令和7年産の水稻の9月25日現在のふるい目幅1.70mmベースの予想収穫量(主食用)は747.7万トンで、前年産に比べ68.5万トン増加と見込まれる。

【水稻の作付面積(主食用)、10a当たり収量及び収穫量の推移(全国)】

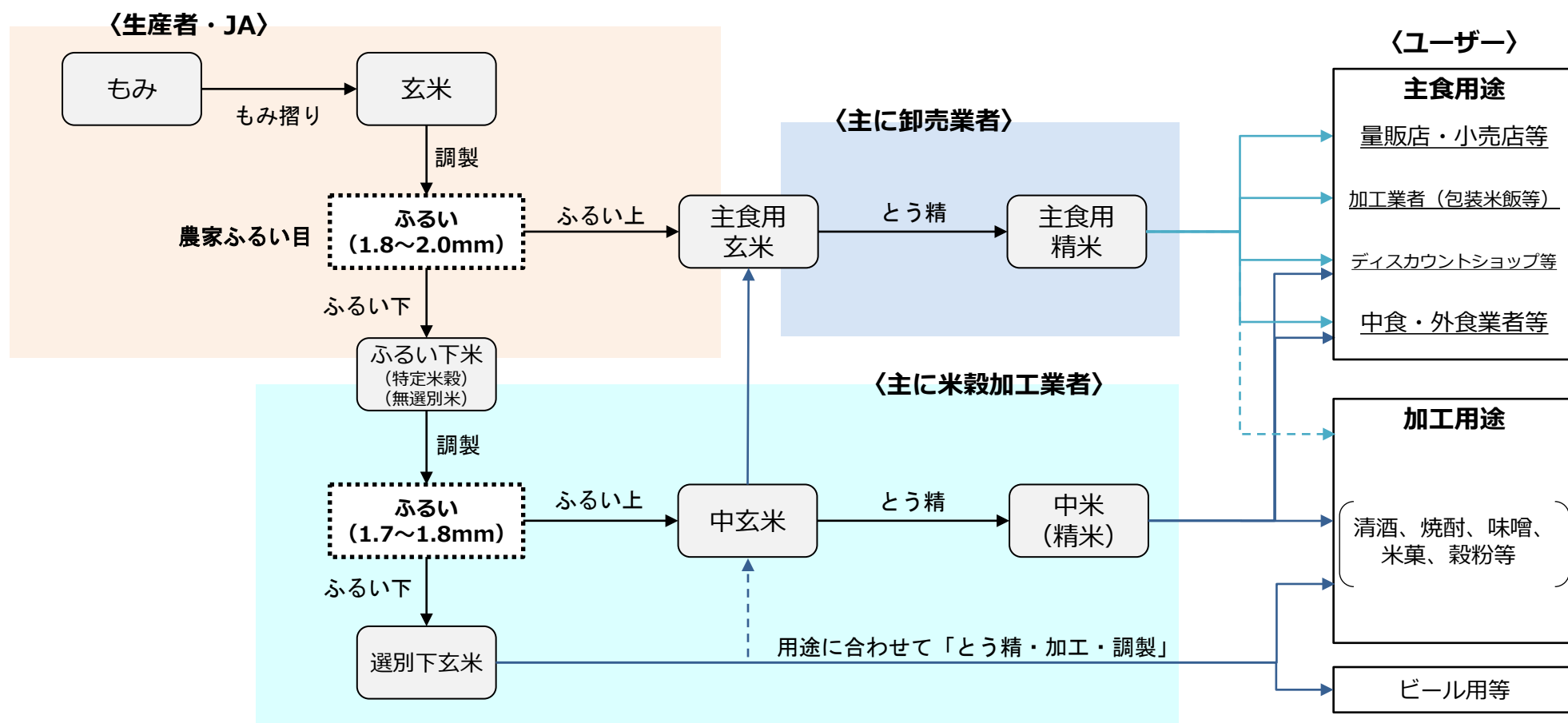


資料：農林水産省大臣官房統計部「作物統計調査 令和7年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量」

- 注：1 作付面積(主食用)とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
 2 生産者が使用しているふるい目幅で選別された10a当たり予想収量及び予想収穫量(主食用(生産者ふるい上米))は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である。
 3 生産者が使用しているふるい目幅で選別された10a当たり予想収量については、都道府県ごとに、過去5か年に生産者が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅で選別された玄米を基に算出した数値である。
 4 10a当たり予想収量及び予想収穫量(主食用(生産者ふるい下米含む))は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

ふるい下米の流通

- 収穫された米は、もみ摺り・調製して「玄米」となり、玄米は「ふるい」で選別され、ふるいの上に残った米は主食用として流通し、ふるい目から落ちた米は「ふるい下米（特定米穀・無選別米）」と呼ばれ、さらに選別されて、主食用米や加工用途（米菓、味噌、焼酎、穀粉等）として利用。
- 主食用の引き合いが強い場合や価格が高い場合には、主食用に多く流通する傾向がある。
- ふるい下米の用途別の販売量等を把握するため、今後、米穀加工業者を対象に調査を行う。



令和7/8年の主食用米等の需要見通しの算出（見直し）【精米ベースで算出】

- 1人当たり消費量は、直近5年ではマイナス・トレンドとなっておらず、直近の需要の動向を反映するため、直近5年の平均値と最大値の幅を持って設定。
- その上で、人口推計やインバウンド需要を考慮して、需要見通しを幅を持って設定。

【令和7/8年の主食用米等の需要見通しの算出方法】

I 1人当たり消費量（精米ベース）の算出

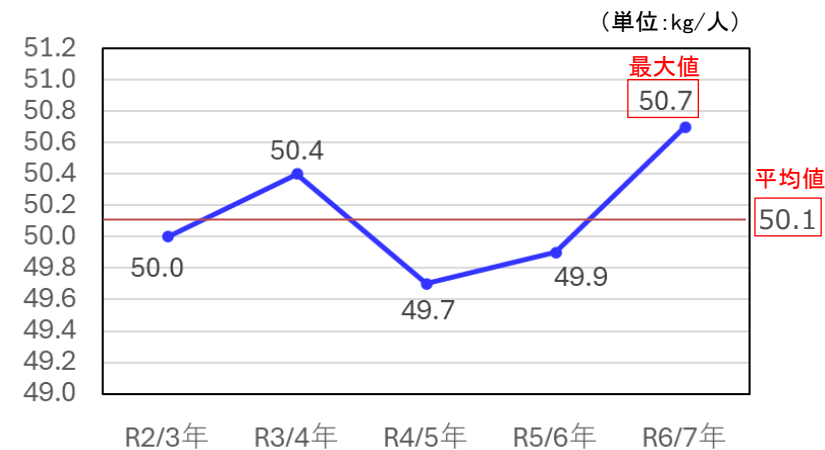
- ① 直近5年（令和2/3年～6/7年）の需要実績（精米ベース）から当該年のインバウンド需要を減じた上で、当該年の人口で除し、各年の1人当たり消費量（精米ベース）を算出

※需要実績にはインバウンド需要が含まれているため、これを減じた上で、人口で除し、日本在住者の1人当たり消費量を算定

$$(\text{需要実績} - \text{インバウンド需要}) \div \text{人口} = \text{1人当たり消費量}$$

- ② ①で算出した直近5年の1人当たり消費量の平均値と最大値の幅をもって設定

（参考1）1人当たり消費量（精米ベース）の推移



II 需要見通し（精米・玄米ベース）の算出

- ① Iの②で算出した「平均値」と「最大値」について、令和7年の人口（推計値）を乗じた上で、令和7/8年のインバウンド需要（試算）を加え、需要見通しを算定

$$(\text{1人当たり消費量} \times \text{人口推計}) + \text{インバウンド需要(試算)} = \text{需要見通し}$$

- ② ①で算出した精米ベースの需要量見通しについて、精米歩留りの直近5年の実績ベースの幅（直近5年平均値、直近5年最低値）をもって玄米換算

（参考2）訪日外国人による米の需要量の推移

（単位：万トン）

R2/3	R3/4	R4/5	R5/6	R6/7	R7/8 (推計値)
0.0	0.1	1.9	5.1	5.7	6.1

（参考3）精米歩留りの推移

（単位：%）

2年産	3年産	4年産	5年産	6年産	5年平均
89.7	90.3	90.0	88.6	89.2	89.6

令和7/8年の主食用米等の需要見通しの算出

【需要見通し算出に当たっての変更点】

- ① 令和6/7年主食用米等需要量の確定値〔ア〕により、1人当たり消費量(精米ベース)〔イ〕を算出 ……(A)
(A)で算出した1人当たり消費量の最大値について、直近のとう精数量の実績に基づき補正 ……(B)
- ② 令和7年人口(推計値)を令和7年人口(9月概算値)に更新 ……(C)

【令和7/8年の主食用米等の需要見通しの算出方法】

① 1人当たり消費量(精米ベース)

【算出方法】

需要実績

—

インバウンド需要量
(試算)

÷

人口

=

一人当たり消費量
(インバウンド需要除く)

○ 直近5年平均値

50. 2kg/人

(A)
R6/7年の需要実績の
確定に伴い更新
(+0. 1kg/人)

○ 直近5年の最大値(令和6/7年)

50. 8kg/人

× 0.998

50. 7kg/人

(B)
直近のとう精数量の実績に
基づき補正(次ページ参照)

② 令和7/8年需要量(玄米ベース)

一人当たり消費量
(インバウンド需要除く)

×

令和7年人口
(7年9月人口(概算値))

=

令和7/8年需要量
(インバウンド需要除く)

+

令和7/8年
インバウンド需要量(試算)

=

令和7/8年需要量
【精米ベース】

÷ 0.896

令和7/8年需要量
【玄米ベース】

50. 2kg/人

×

123,170千人

=

618. 0万トン

+

6. 1万トン

=

624. 1万トン

÷ 0.896

697. 4万トン

50. 7kg/人

×

123,170千人

=

624. 8万トン

+

6. 1万トン

=

630. 9万トン

÷ 0.886

711. 3万トン

(C) R7年の推計人口から
R7年9月人口へ更新(▲50千人)

(参考1) 一人当たり消費量(精米)の推移

	需要実績 (万トン)		インバウンド 需要 (万精米トン) ②	人口 (千人) ③	1人当たり 消費量 (精米kg) (①-②)÷③
	玄米	精米 ①			
R2/3年	704.0	631.3	0.0	126,146	50.0
R3/4年	701.5	632.8	0.1	125,502	50.4
R4/5年	691.1	622.3	1.9	124,947	49.7
R5/6年	ア 704.9	626.2	5.1	124,352	49.9
R6/7年	712.7	635.0	5.7	123,802	イ 50.8
5年平均					50.2

(参考2) 精米歩留りの推移

2年産	3年産	4年産	5年産	6年産	5年平均
89.7	90.3	90.0	88.6	89.2	89.6

(参考3) 人口減少による需要の減少量

R6/7年からR7/8年の人口減少(▲63万人)による需要の減少量は ▲63万人 × 50.8kg/人 = ▲3.2万トン

とう精数量実績に基づく、R7/8年の1人当たり消費量の最大値の補正

- **令和7/8年の7月・8月のとう精実績**は、3カ年平均値の同月分と比べて約2,400玄米トン（0.42%）少なく
なっている。
- この減少率に、需要量全体に占めるとう精数量の割合を加味すれば、**需要見通し上では0.20%の減少率に相当。**
- **減少率0.20%とすると、1人当たり消費量（インバウンド需要除く）の最大値は50.7kg/人。**

○とう精数量実績の推移（千トン（玄米））

	7月	8月	7月～8月 計	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	年計
令和4/5年	272.5	279.9	552.5	280.1	278.4	269.9	290.0	252.8	260.6	290.1	291.1	290.8	289.6	3,345.9
令和5/6年	282.5	291.5	574.0	285.3	288.9	278.8	299.8	268.1	279.7	295.9	310.1	302.8	293.8	3,477.3
令和6/7年	301.7	308.3	609.9	278.9	278.7	268.9	287.2	261.7	258.5	271.0	303.1	288.6	291.5	3,397.9
3カ年平均	285.6	293.2	578.8	281.4	282.0	272.5	292.3	260.9	266.3	285.6	301.4	294.1	291.6	3,407.0
令和7/8年	304.5	271.9	576.4 (▲0.42%)	280.3	280.8	271.4	291.1	259.8	265.2	284.5	300.2	292.9	290.4	3,392.9

注 とう精数量は、報告のあった468の精米事業者のうち、前回調査（本年6月）と比較可能な398の精米事業者の実績を集計。

↓
3,006千精米トン

○1人当たり消費量の最大値の補正

上記の減少率（▲0.42%）に、
R7/8需要量全体（626.1万トン※）に占める
R7/8とう精数量見込み（300.6万トン）の割合
を乗じて**▲0.20%**

※ 50.8kg/人×123,170千人=626.1万トン

$$0.42\% \times \frac{300.6 \text{ 万トン}}{626.1 \text{ 万トン}} = \mathbf{0.20\%}$$



$$50.8\text{kg} \times (1 - 0.20\%) = \mathbf{50.7\text{kg}}$$

設定のポイント

- 令和8/9年主食用米等需要量 <694～711万玄米ト> ……①
 - ・ 令和7/8年の需要見通しの算定の考え方を踏襲して設定
 - ・ 1人当たり消費量(精米ベース)は、直近5年(令和2/3年～6/7年)の需要実績(精米ベース)を基に、平均値～最大値の幅で設定(50.2～50.8Kg/人)
 - ・ 人口とインバウンド需要について、令和8/9年の推計値を用いて算出
- 令和8年産主食用米等生産量 <711万玄米ト> ……②
 - ・ 生産量は、需要見通しに対して余裕をもって設定することとし、①で設定した需要量見通しの上位値に設定
- 令和9年6月末民間在庫量 <215～245万玄米ト> ……③
 - ・ 上記の見通し設定に伴い、令和9年6月末民間在庫量を設定

今回の基本指針の変更（案）〔令和8/9年の需給見通しの設定〕

○ 令和8/9年の主食用米等の需給見通し

		今 回	
		(万玄米ト)	(万精米ト)
令和8年6月末民間在庫量	H	215～229	191～205
令和8年産主食用米等生産量	I	711	630～637
令和8/9年主食用米等 供給量計	J=H+I	926～939	821～841
令和8/9年主食用米等需要量	K	694～711	622～630
令和9年6月末民間在庫量	L=J-K	215～245	191～220

②

需要見通しに対して余裕をもって設定
(①で設定した需要量見通しの上位値に設定)

①

令和7/8年の需要見通しの算定の考え方を
踏襲して設定

③

上記①～②の見通しに伴い設定

※1 事前契約による令和8年産備蓄米の政府買入れは21万玄米トを予定。これは
上記「令和8年産主食用米等生産量」には含まれていない。

※2 政府備蓄米の放出(全体で約59万玄米ト)に係る買戻し及び買入れは、今後の
需給状況等を見定めた上で行う。

令和8/9年の主食用米等の需要見通しの算出

【算出のポイント】

令和 7 / 8 年需要見通しの算定の考え方を踏襲して設定

- ① 1人当たり消費量：直近5年（令和2/3年～6/7年）の需要実績（精米ベース）を基に、平均値～最大値の幅で設定
- ② 人口、インバウンド需要：令和8/9年の推計値に更新

【令和8/9年の主食用米等の需要見通しの算出方法】

I 1人当たり消費量（精米ベース）

【算出方法】

（

需要実績 — インバウンド需要量
（試算）

）

÷

人口

=

一人当たり消費量
（インバウンド需要除く）

①直近5年平均値

50. 2kg/人

②直近5年の最大値（令和6/7年）

50. 8kg/人

II 令和8/9年需要量（玄米ベース）

一人当たり消費量
（インバウンド需要除く）

×

令和8年人口
（推計値）

=

令和8/9年需要量
（インバウンド需要除く）

+

令和8/9年
インバウンド需要量（試算）

=

令和8/9年需要量
【精米ベース】

÷0.896

令和8/9年需要量
【玄米ベース】

50. 2kg/人

×

122,569千人

=

615. 0万トン

+

6. 6万トン

=

621. 6万トン

÷0.896

694. 1万トン

50. 8kg/人

×

122,569千人

=

623. 0万トン

+

6. 6万トン

=

629. 6万トン

÷0.886

710. 7万トン

玄米
換算

（参考1）一人当たり消費量（精米）の推移

	需要実績 （万トン）		インバウンド 需要 （万精米トン） ②	人口 （千人） ③	1人当たり 消費量 （精米kg） （①-②）÷③
	玄米	精米 ①			
R2/3年	704.0	631.3	0.0	126,146	50.0
R3/4年	701.5	632.8	0.1	125,502	50.4
R4/5年	691.1	622.3	1.9	124,947	49.7
R5/6年	704.9	626.2	5.1	124,352	49.9
R6/7年	712.7	635.0	5.7	123,802	50.8
5年平均					50.2

（参考2）精米歩留りの推移

（単位：％）

2年産	3年産	4年産	5年産	6年産	5年平均
89.7	90.3	90.0	88.6	89.2	89.6

（参考3）人口減少による需要の減少量

R7/8年からR8/9年の人口減少（▲60万人）による需要の減少量は ▲60万人 × 50.8kg/人 = ▲3.1万トン